

第15回東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議 概要

- 日時 令和5年1月25日(水) 14:00~16:00
- 場所 テレビ会議
- 次第
 - 1 開会
 - 2 議事 (1) 新庁舎建設基本計画(案)パブリックコメント結果について
(2) 新庁舎建設基本計画(案)修正について
 - 3 閉会

●会議概要

1 開会

2 議事

(1) 新庁舎建設基本計画(案)パブリックコメント結果について

- 事務局から、新庁舎建設基本計画(案)に対するパブリックコメント結果の取りまとめ状況について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ わざわざ浸水する様な場所になぜ作るのかという疑問は、必ず出てくることだと思う。それに対しては対策を十分考えており、それが伝わるように基本計画を修正する、あるいはきちんと説明する回答ができるかと思う。
 - ・ 専門家会議で丁寧に議論してきたことを、できるだけ表現する様な形で、大事にご指摘だという受け止めと同時に、万全の備えをすることを、上手く表現してもらえればと感じた。
 - ・ にぎわい、交流、協働の図について、協働からにぎわいに戻っていく、循環する様なものが良いのではないか。それぞれ対等だという意味にしても、悪くはない。にぎわいから始まって、協働に行き着く、そういう直線的な表現ということであれば、多少違和感がある。
 - ・ にぎわいが進化して交流になって、交流が進化して協働になる様な書き方には、言われてみると違和感がある。図「低層部の管理区分のイメージ」が大事だと思っている。これまでの会議で議論してきたことを踏まえて、にぎわい、交流、協働が空間的に上手く共存する表現が良いのではないか。
 - ・ 基本計画を策定するにあたって、内容が不十分なものを出すのでは信頼性に欠ける。しかし、今書かれている内容がそのまま実体化する訳ではない。綺麗な言葉になっていても、全く役に立たない。実態としてどういう可能性があるのかということ、実務に取り組んでいる人も、第三者も大丈夫だろうという見通しが立っていることが大事だと思う。浸水したときにどうすれば機能維持ができるのかということは、まだよく分かっていない。だから、分散させて機能させるということの具体的なイメージの様なものを、別のところで提示した方が良いと思う。

- ・ コストの問題について、何とかしますと書くだけではなく、本気でペーパーレスとフリーアドレスを進めながらも、押さえるところは押さえる様な、もうちょっとメリハリのある計画にできないか。
- ・ プロポーザルで選ばれた人達が本気になってやれる様な体制を構築してほしい。例えば面積等と連動させながらコスト管理をする第三者による委員会を立ち上げて、設計者と一緒に取り組むことはできないか。設計者だけで、事業の上位に遡及する様な問題は解けない。
- ・ プロポーザルで審査委員会ができて、その審査委員会がずっと継続して指導するというか、チェックするというか、そういう体制もあるだろう。
- ・ 設計者と北区が一对一の関係になるのではなく、外部の意見も聞きながら、条件も変えながら、ダイナミックに発展する様なプロセスがこの案件においては重要なのではないか。
- ・ コスト管理、LCCに関しても、厳密に管理できる様な体制を検討したいと書いていいのではないか。色々な関係者にとって、リスク回避でもあるし、実質的な意味もあると思う。外部の専門家による組織が納得しないと勝手には進められない様な体制を作ってはどうか。
- ・ 防災面に関して、国内外で気候変動対策が非常に動いている。そういう最新の技術とか、補助金とか、場合によっては制度提案することを含めて、上手に活用して進めていくという方針が大事だという印象を持っている。

クリエイティブなコストコントロールに加えて、指摘されている水害への備えという観点からも、これまでの発注者と受注者の関係性から発展させた体制や取り組みを期待したい。

- ・ 水害対策に対して相当強い対策がある提案を基本設計の中で選ぶ余地が残されているということだと思う。計画書が当初、表「3つのモデルケースの比較」のケース2を中心に考えるということだったから、本文中にケース2をベースにするような記載がまだ残っている。あくまでもイメージであるということについて、防災の項目の回答に書いてもいいのかもしれない。
- ・ 低地の防災機能を高めるという非常に意義のある事業である。非常に問題があるところに飛び込んでいって救うという位置付けになるから、もう少し、その旨を書ける範囲で書いて頂きたい。
- ・ 低地には沢山の人が住んでいて、色々なことが起こってる。そうした人達に対してサポートをするということであれば、理にかなっていると思う。
- ・ 防災センターに最終的に災害対策本部を移すかどうかという議論が、重要な分かれ道だと思う。にぎわいや低層階の検討次第で、防災のあり方が変わる様に見えるが、本来的には防災センターをどのタイミングで、どう使ってやるかという計画があつてこそ、1、2階が検討されるべき。話の順番がこれでいいのかという印象を受けてしまう。表「3つのモデルケースの比較」のケース1～3のどれにすると決めていない、どれでも選択できるということによって、区民にとっては、1、2階の使い方が曖昧になっていると思えて、パブリックコメントでのご指摘に繋がってしまうのではないか。

他の項目に比べて、大変重要そうなことがさらりと書いてあったので、地域防災計画と足並みを揃えて検討していくといった記述があれば良いのではないかと思った。

- ・ 事業に対して区民の方や、これからは専門家も関心を持ち、疑問を持つだろう。なるべくオープンにできる情報はオープンにして、設計に反映できる様に、あるいは設計提案でプロポーザルに上手く反映してもらえる様にしていったら良いのではないかと。
- ・ 私達は議論の中にいるから、第三者から見ると新しい切り口が出てくる。
- ・ パブリックコメントに対する回答は、公式なものになる。大変重要な指摘が沢山あるので、それを上手く活用して、プロポーザルの提案がより意義のある知恵を絞ったものが出てくるためのものにして頂きたい。

(2) 新庁舎建設基本計画（案）修正について

- 事務局から、新庁舎建設基本計画（案）に対するパブリックコメントを踏まえた、内容の修正検討について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 繰り返しになって恐縮なのだが、事業に協力していく組織について、審査委員会の委員やそれ以外の専門家の人達も入るような体制ができれば、設計者も、専門家も緊張感をもって取り組めるのではないかと。専門家の方もそれだけお付き合いするのも大変ではあるが、専門家にとっても最終的な責任を果たすという意味があると思う。
十分検討して頂いて、書き込めるものは書き込んで頂ければと思う。
 - ・ 「浸水防止対策とバックアップ」というタイトルのコラムで、状況によっては新庁舎に残ることもあるというシナリオも考えると、「浸水防止対策と業務継続対応」といったタイトルが良いのではないかと。
 - ・ パブリックコメントで長くなっている回答があるので、重要なキーワードや、キーになる部分に関して、アンダーラインを入れる等の配慮をしてもいいかもしれない。

3 閉会